



SUPER GT

Rd7 Autopolis Race Report

2022/10/1-2

有限会社 坂下組

ASURA
edutech

AUTISTA
RACING EQUIPMENT

Final Lap
Body Coating Studio

CUBE
CONSTRUCTION
TOTAL SYSTEM

ピュアカーニング
Quality, Value, Ecology & Smile
コインテッドール

air-J

K&C
KOBAYASHI
DENTAL CLINIC

9999

EMC インパイヤ自動車株式会社

SEV

Arai
HELMET

Tipo

前回の初ポイント獲得から良い流れを繋げたい今回のレース。タイヤに厳しいオートポリスで決勝のロングのことを常に考え、マシン作りを行っていきました。

公式練習 25位 晴れ/ドライ

土曜日の午前中に公式練習が行われました。最初に乗車しましたが、タイヤを壊さないようにフルプッシュはせず、安定したペースで周回を重ねていきました。それでもタイヤの磨耗は激しく、ドライビングも合わせ込むのが大変でした。その中でもセットアップを進めて予選に向けて良い方向へマシン作りを行うことができました。

予選 9位 晴れ/ドライ

土曜日の午後に予選が行われました。松井選手が Q1 を 5 位で通過し、公式練習の状況を考えると大幅にスピードが上がっていました。2 回目の Q2 となりましたが、今回も良い緊張感を持ってアタックしていきました。1 周しかチャンスがない中で大きなミスをするのではなく、9 位で終わることができました。予想以上の結果だったので非常に嬉しい結果となりました。

決勝 16位 晴れ/ドライ

日曜日の午後から決勝レースが行われました。僕はスタートを担当しました。例年荒れた展開になることの多いオートポリスなので、まずは接触のないように意識していきました。少し順位を落としてしまいましたが、ペースは悪くなかったので集団についていく形で周回を重ねていきました。タイヤを持たせることも意識しながら走行していき、20 周目あたりで松井選手と交代となりました。タイヤも 2 輪交換を行い、追い上げを狙いました。しかし後半ペースが上がらず、逆に順位を落としてしまう展開となりました。結果 16 位となり、決勝のロングのペースが大きな課題となりました。

スポンサーの皆様へ

今回も沢山の応援をありがとうございました。前回の良い流れを繋げていきたかったですが、今回は新たな課題が見つかりました。予選でのスピードは高いパフォーマンスを発揮できていると思いますが、決勝のロングペースがまだまだ足りていません。マシン、タイヤの特性を今まで以上に理解し、ペース不足を改善できるように努力していきます。

